



秀養邦海

文武
両道

2023.07.03
第16号
進路指導部

海の安全を守る仕事(国家公務員専門職)について

首里高生でも将来の希望進路として考えている人の多い「公務員」。しかし公務員と一口に言っても、お仕事の内容、勤務地、採用方法は様々です。今号では、前号に引き続き高校3年生から卒業後の数年間という限られたチャンスでのみ受験できる**国家公務員専門職(高卒程度)**のうち、高度な専門知識・技能を活用して**海の安全を守るお仕事**を紹介します。



島嶼県沖縄の海は「第十一管区海上保安本部」のみなさんによって守られています。

- ①**領海・EEZ(排他的経済水域)を守る** 巡視船で尖閣諸島周辺海域での領海警備、日本漁船の安全確保を行う。巡視船や航空機で外国海洋調査船によるEEZでの活動の監視・警戒等を行う。
- ②**治安の確保** 外国漁船の違法操業、沿岸部での悪質な密漁行為、違法薬物の密輸など各種海上犯罪の取り締まりやテロ警戒を行う。
- ③**生命を救う** 県民や観光客のマリンレジャー中の事故、船の事故や乗組員の傷病、離島からの急患搬送に対応する。航空基地に配置された機動救難士、巡視船に配置された潜水士を中心に、海と空の両方で即時対応できる体制が整っている。
- ④**海洋調査** 水路測量や海潮流観測を行い、海図や水路誌の情報を更新することにより、船舶の航行の安全を支えている。



①～③の活躍はニュースや新聞等で目にする機会が多いので、海上保安官の仕事イメージしやすい人も多いかもしれませんが、実は④の海洋調査(海上保安庁海洋情報部)も我が国の領海とEEZを守り海の安全を支える重要な役割を果たしています。

上記以外にも、海上での油などの有害物質流出や自然災害への対応、沖縄の青い海を守り安全なマリンレジャーの推進を図る啓発活動など、多くの海上保安官が陸・海・空の様々なフィールドで活躍しています。海外で活躍する方や女性職員もいます。

※この内容は、第十一管区海上保安本部の方に伺ったお話とパンフレットなどの情報をまとめたものです。

海上保安官になるには・・・**航空保安学校・海上保安大学校**に入校し、専門的な教育を受けなければなりません。

海上保安大学校 (幹部海上保安官になる)

受験資格: (本科) 高校卒業後2年未満まで
(初任科) 大学卒業後30歳未満まで
期間: (本科) 4年9ヶ月 (初任科) 2年
住所: 広島県呉市若葉町5番1号

海上保安学校 (現場第一線の海上保安官になる)

受験資格: 高校卒業後12年未満まで
期間: (船舶運航システム課程) 1年 (情報システム課程) 2年 (管制過程) 2年
(航空課程) 1年+卒業後約2年の研修 (海洋科学課程) 1年
住所: 京都府舞鶴市字長浜2001

オープンキャンパスもやってます!

学生生活: 学生寮で生活しながら研修を受けます。入校する科・課程によって、期間は異なります。

授業料・教材費等は不要。制服は支給。国家公務員として在学中から給与(約15万程度/月額)が支給されます。

高校卒業の資格で目指せる国家公務員専門職には、他にも皇宮護衛官、税務職員、入国警備官、刑務官、気象大学校があります。冒頭でも述べましたが、「公務員」の職種も様々で、普段の生活ではなかなか出会えない、そして職業説明会でもお話を伺う機会が少ない職種の公務員の方々も沢山います。公務員に限らずとも、「お!ちょっと面白そう!」と思える職業に出会った時が学びのチャンスです。まずは調べて体験してみましょう。オープンキャンパス等に参加して、その分野の先輩方から直接お話を伺うのもとても勉強になります。**百聞は一見に如かず!**